

新型コロナウイルス ワクチン接種

医療技術部部長・公衆衛生部部長 佐藤潤一



安房地域医療センター

☎ 0470-25-5111

新型コロナウイルスのワクチン接種が日本でも始まって半年以上が経ちました。安房地域では3月末から医療従事者を、5月末からは住民の方々へと、段階を踏んで行っています。

集団接種や巡回接種といった住民向け接種では、当院の職員だけではなく、安房医師会を中心とする地域の医療機関の医師・看護師・事務員、安房薬剤師会の薬剤師、また各行政職員など、さまざまなスタッフが集まり、日曜日ごとに接種を行いました。携わった方々はほとんどが初対面の中、地域への貢献を目的とし、41医療機関から延べ1,420名近くの医療スタッフが参加しました。そしてそれぞれの役を理解し協力して安全な接種を目指し、延べ13,000名以上の方に事故無く実施いたしました（8月上旬現在、個別接種は除く）。



ここに至るまでには課題も多く、今年3月からは、毎週1回、診療や業務を終えた夜に、安房医師会の医師、各行政担当者、接種実施機関の医師や事務員が集まり、課題を挙げ住民の皆さまにいかに平等に効率よく安全に接種できるか協議を行い、現在も継続しています。



多くの感染者が続く中、これからは「走りながら模索」していくこととなりますが、安全なワクチン接種を行うために、また、安房地域の皆さまの集団免疫獲得に向けて、全力で取り組んでまいります。

ただ今、臨地実習に奮闘中（3年生）

安房医療福祉専門学校（看護学科3年課程）では、ただ今、最終学年の3年生が、臨地実習を行っています。5月10日の領域実習に始まり、母性、精神、小児、在宅、統合実習と10月29日まで、夏休みも無い長丁場となります。卒業までのラストスパート、皆、目の色を変えて真剣に取り組んでいます。

昨年からのコロナ禍において、実習を受け入れて下さっている医療機関や各施設の方々にはご多忙中、本当に頭が下がる思いです。

将来地域医療の中核を担う看護師として、欠かすことのできない貴重な経験となると信じています。

安房医療福祉専門学校

☎ 0470-28-5100



☆10月以降のイベントは学校HPをご覧ください。

本年度の入試日程

- ◇指定校制推薦、公募制推薦、入学試験A
2021年10月16日（土）
願書受付期間
2021年9月22日（水）～10月7日（木）
- ◇入学試験B、公募制推薦（2次募集）
2021年11月27日（土）
願書受付期間
2021年11月4日（木）～11月18日（木）

- ◇入学試験C
2022年1月29日（土）
願書受付期間
2022年1月6日（木）～2022年1月20日（木）
- ◇入学試験D
2022年2月26日（土）
願書受付期間
2022年2月3日（木）～2022年2月17日（木）



編集後記 今年も太陽会のタイムリーな話題をお伝えできるよう、広報委員一同頑張っています。（広報委員会）

社会福祉法人 太陽会 広報誌 OHANA Vol.52 2021年10月1日発行
発行責任者/神定 浩明 編集責任者/三橋祥江 広報委員/石井・伊舎堂・今井・大和田・岡崎・川上・小嶋・田中（桜）・梨岡・吉田・米倉（和）・渡邊（拓） 印刷/編集協力/有限会社コアコミュニケーション

社会福祉法人 太陽会 〒296-0124 千葉県鴨川市大幡1222-1
TEL.04-7096-6100 FAX.04-7096-6101

OHANA



社会福祉法人太陽会 広報誌

2021
秋号
VOL.52

社会福祉法人 太陽会
〒296-0124
千葉県鴨川市大幡1222-1
TEL 04-7096-6100
FAX 04-7096-6101

- ◆Topics◆「パークウェルステイト鴨川」開設に向けて 社会福祉法人太陽会 理事長 亀田信介
- ◆特集◆「障害のある方の“働きたい”をサポートします」



▲企業主導型保育所OURS babyより

(写真中の絵本「やさいさん」 さくtupera tupera)

- 2 Topics 「パークウェルステイト鴨川」開設に向けて 社会福祉法人太陽会 理事長 亀田信介
- 3 ニューノーマル「オンライン面会の広がり」 「新しい価値の創造」
- 4 リレー連載 第3回 施設長が語る
- 5 たいよう「そうめん流し」 まんぼう「コロナ感染防止策・納涼花火大会」
- 6 しあわせの里「七夕に願いを・夏祭り」 らんまん「勉強会開催・農耕作業20年」
- 7 OURS「ひまわりの絆プロジェクト」 OURS baby「リトミック遊び」
- 8 めぐみの里「創作活動・習字で意欲的に」 らんまん「押し注目商品 技能実習生のご紹介 No.5」
- 9 シリーズ 人生の達人に聞く 持続可能な地域社会のために「留学生の受入れ」
- 10~11 特集「障害のある方の“働きたい”をサポートします」
- 12 安房地域医療センター「新型コロナウイルスワクチン接種」 安房医療福祉専門学校「臨地実習に奮闘中」

OHANA・オハナはハワイ語で家族。広い意味では、どんな時でも助け合い、いつもどこかでつながっている、そんな人と人との関係を、オハナと呼ぶようです。すべての人びとがOHANAであるようお願いを込めて、太陽会の広報誌をお届けします。

「パークウェルステイト鴨川」 開設に向けて

社会福祉法人太陽会 理事長 亀田 信介



鴨川の湾を一望できる浜荻の高台に、22階建てのシニアサービスレジデンス「パークウェルステイト鴨川」の全貌が見えてまいりました。この施設は高齢社会に向け国家成長戦略の一環として掲げられた「CCRC」(Continuing Care Retirement Community)のリゾート型モデルの先駆けとして、三井不動産レジデンシャルがオーナーとなり進められているプロジェクトです。

473室の居室がありますが、64室は重介護に対応できる施設となっています。

この施設において太陽会は介護専用フロア（2フロア）64室の運営と、一般居室の方々の生活サポートを担当いたします。

現在入居募集が始まっていますが、入居時の平均年齢は78～79歳と予想されます。当初より、何人の方が直接介護専用フロアに入居されますが、基本的に入居時は自立されている方が対象となっています。



コンセプトとしては、平均寿命100歳時代に、人生を謳歌するためのステージを演出することです。趣味、娯楽、スポーツなどを楽しみながら健康的に暮らすことはもちろんですが、地域社会との交流や貢献など、社会とのつながりを実感できることが非常に大切だと思います。つまり、パークウェルステイト鴨川は施設ではなくコミュニティーなのです。安心、安全、快適な生活をサポートすることはもちろんですが、この施設を閉じられた城にはいけません。



入居者の多くは東京をはじめとした遠方からいらっしゃいます。従って、一刻も早く、地域社会に溶け込んでいただき、ふれあいのある人間らしい豊かな生活を送っていただきたいと思ひます。

そのためには、介護という枠を超え、地域に開かれ、一体となったコミュニティーを作らなければなりません。丘の上にそびえたつ立派な建物ですが、城壁のない、誰もが気楽に立ち寄れる終の棲家になりたいと思ひます。

介護フロアのメンバーをご紹介します。

～ふれあいのある人間らしい豊かな生活を～



2021年8月2日、パークウェルステイト鴨川にて



丸山 祝子
Noriko Maruyama
ウェルネス・マネジャー
(支配人)

「『その方らしく生きる』を大切に、ご入居者と支えるスタッフが心豊かで笑顔が溢れるよう、心を込めて寄り添って参りたいと思ひます。」



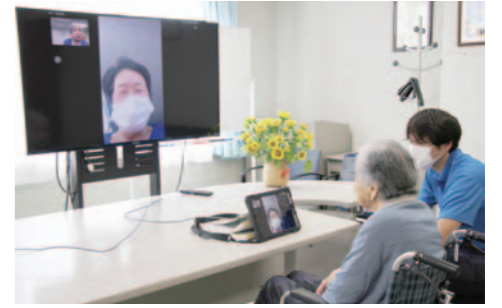
出崎 信也
Shinya Desaki
介護部門長

「太陽会が築き上げた「福祉のカタチ」の中に、【どう楽しく生きるか】にスポットを当てた、全く新しい柔軟なサービスを ONE TEAM で提供いたします。」

オンライン面会の広がり ～アフターコロナへ～

新型コロナウイルス感染予防の観点から、高齢者は特に重篤化しやすいとのことで、面会制限を設けています。

2020年5月から、めぐみの里、たいようではオンライン面会を開始。久しぶりに顔が見れたとご本人・ご家族に喜んでいただき、リピーターも増えて、たくさんの方が利用してくださっています。



毎週、毎月ご利用の方も

「遠くの方も、ご高齢の方も、入所者にお会いする可能性が広がったと実感」と三浦晃治副主任・介護福祉士(たいよう)。「以前は面会の様子を伝え聞いていた方も、実際に会って『元気?』などのありきたりの言葉からはじまるやりとりが心を和ませるようです。」



(めぐみの里)



(たいよう)

直接顔が見れて、お互いうれしい

「ご利用者に『今日はテレビ電話の日ですよ』というと、『そうさそうさ』と楽しみにされています。ご家族と話す刺激になるので、声が聞けて、顔が見れるのは一番ですね。」と鈴木一樹相談員・社会福祉士(めぐみの里)。

両施設とも、面会再開後もこのサービスは、残していく予定です。

●ご家族の方へ

オンライン面会のご利用予約はお気軽に。

●施設利用をご検討の方へ

オンライン入所申込も可能になりました。

★詳しくは各施設へ

新しい価値の創造 ～電子キーボード導入～

ニューノーマル時代で私たちの世界は一変し、二年が経過しました。一年目は戸惑い、もがきながら「今」を守る事に一生懸命でしたが、二年目を迎え、新しい「未来」に向けた歩みを進める事が、少しずつできるようになってきたと感じます。

今こそ、教育・保育の現場が

しなやかに進化していくチャンス!

認定こども園OURSでも、鍵盤ハーモニカ(ピアノ)を教育・保育の中に取り入れる予定でしたが、昨今の感染症への対策として、経口することなく使用できる、電子キーボードへ変更しました。

新たな楽しみと学び

「確かに、息を吹きながら鍵盤を弾くという、協応する学びは得られなくなりますが、鍵盤を弾く、そのことだけに集中できるようになりました」と語る、プレイクラスの松崎リーダーは、子どもたちが活動を楽しみ、学びを深める姿に瞠目しています。

しなやかに進化!

「海外に行けなければVR(バーチャルリアリティ)で体感する、社会の情報化が急速に進めば、ICT教育を導入する、これからの時代を、より良くしていく、逆境においても新しい可能性に目を向け、価値を創造する素晴らしい力が、人間にはあると信じています。」と米倉和昭園長は述べています。



わくわくした気持ちで、日々子どもたちと遊び学んでいます。

出会いとご縁に「日々感謝」

障害福祉サービス事業所らんまん 施設長
鈴木 晃
(写真中央)

Q いつも大事に思うことは？

これまでの出会い

1998年にらんまんのオープニングメンバーとして入社し、らんまん・障害者支援施設しあわせの里・らんまんと業務に携わることができ、現在に至っております。

入社時、個性・人生経験豊かな仲間と出会い、一人ひとりの個性や感性を集結することで大きな力の源が生まれることを実感しました。今も、らんまんの礎となって、受け継がれています。

また、この間、しあわせの里、らんまんで多くのご利用者・ご家族の皆さまとの出会いもあり、未熟な私に、日々たくさんの笑顔・元気そして、メッセージをいただけてきました。先輩職員からの厳しくも温かい助言や笑顔にも支えられました。



法人・施設の恒例イベントに毎年ご来場いただいた地域の皆さま、そして多くのボランティアの皆さま、ご利用者が就職に向けた職場実習でお世話になった地元企業の方々、外出先でご利用者にやさしく声を掛けてくださる地域の方々、まだまだこの文面では紹介しきれない数多くの方々に、ご支援をいただけてきました。



Q 皆さまに一言メッセージ

「感恩報酬」の気持ちで取り組みます

私たちの役割は、ご利用者が地域社会で働き、より多くの方とつながり、お一人おひとりが輝き続けることができる支えとなるサービスを提供すること。

常に継続し、歩みを止めないこと。

これらの活動を地道に積み重ね、障害を持たれた方々の社会参加の促進と共生社会の実現にむけた拠点としての役割を担える施設づくり。



ウィズコロナ、アフターコロナでも持続可能な取り組みで

台風被災時に、福島からの温かいご支援

2019年、安房地域でも甚大な被害に見舞われた台風15号、19号。施設でも数日に及ぶ猛暑の中の停電。この時、温かい励ましとご支援をくださったのが「社会福祉法人福島県福祉事業協会」の方々でした。福島県各地でも大雨による被害があったにもかかわらず、遠方より激励のため施設まで駆け付けてくださいました。

2011年の東日本大震災により、鴨川に避難されていた時からのご縁で交流させていただいております。



2011年4月から同協会4施設の障害者・同行者の皆さまが、順次鴨川に避難された。太陽会職員も受け入れ支援のほか、福島に戻られるまでの7か月と15日間、作業や招待行事など交流を深めた。

鴨川の地

台風被災時には、近隣の地域の皆さまや、行政機関、関係機関の皆さまからも、たくさんの励ましとご支援をいただきました。

改めて、この地（鴨川市大幡）で施設を運営できることに感謝しております。これまでの、人との出会い、ご縁、多くの方に支えられて今の太陽会があり、それは、私にとっても大切な財産です。

これまでのたくさんの出会いとご縁に「日々感謝」。いつもありがとうございます。

そして、地域に根ざした、地域の皆さまのお役に立てる法人・施設運営に取り組んでいくことだと考えます。

皆さまに感謝とご恩に報いる気持ちを持ち続け、これからも、多くの人、たくさんの笑顔と出会うことを楽しみに、明日へ向けて歩いていきたいと思っております。

まだまだ至らない点が多々あるとは思いますが、今後とも、お力添えのほどよろしくお願いいたします。

夏の風物詩! 流しそうめん!



7月25日(日)開催。流れてくるそうめんを楽しそうにすくっていましたが、「逃げられた〜」「難しいけど楽しい」などの声が聞かれました。すくった後はテーブルに移動し、そうめんを召し上がっていました。「おいしい」「もっと食べたいね」といろいろな声が聞かれました。

コロナウイルスの影響で、限られた環境の中ですが、ご利用者の笑顔を見て、職員も楽しく行うことができ、元気をいただきました。



介護老人保健施設 **たいよう**
☎ 04-7093-7711



2021年 夏祭り

8月8日(日)、コロナ禍のため、今年度はご利用者のみで、施設内を利用して金魚すくいとかき氷を主に開催しました。各フロアにて金魚すくいをを行い、ポイを破ることなく何匹もすくい上げる猛者もおられ、喜ばれるご利用者が多く見られました。「金魚すくいなんて久しぶりね…」と話される方もあり、童心に帰ったように楽しまれていました。



かき氷も「冷たくておいしいわ」と、たいへん喜ばれていました。

コロナ感染防止策



7月4日(日)、まんぼうでは鴨川市と亀田総合病院医師と打ち合わせを行い、コロナワクチン2回目の接種を行いました。接種後の発熱が懸念されていましたが、幸い体調を崩すご利用者はなく、接種が無事終了致しました。ひと安心ですが、ワクチン接種が終わったからといって気を緩めることなく、コロナが収束し、皆が笑顔で過ごせる日々が来るまで感染防止策を行ってまいります。

納涼花火大会

7月29日(木)、鴨川市納涼花火大会が市民向けに縮小して行われました。まんぼう屋上や、それぞれの居室から楽しむことができました。次々上がる大輪の華は暗い気持ちを吹き飛ばし、色鮮やかな光と音はひと時の夢を見せてくれました。

この日は、七夕メニューを提供しました。天の川をイメージした錦糸卵と星型のかまぼこを添えて、夜を待たずに星空を食卓に描きました。普段とはまた違った雰囲気、目と舌で堪能されていました。



七夕に★願いを～

7月5日(月)晴天の中、しあわせの里では施設行事七夕会が開催されました。食事では「そうめん」「天ぷら」「白玉抹茶プリン」。箸置きは、らんまんのご利用者に丹精を込めて一つずつ作っていただいた七夕バージョン。ご利用者も喜ばれている様子でした。

催し物では、七夕にちなんだクイズ大会、男性職員女装織姫コンテストをメインの出し物として、コロナウイルスをも吹き飛ばす程の盛り上がりとなりました。手作りの顔ハメパネルで記念写真をパシャリ。「楽しかったよ!!」とたくさんの方の声を頂き、思い出の一つとなりました♪



天の川でのツーショット



願いがかなうかな～

障害者支援施設
しあわせの里
☎ 04-7098-1110



まいう～!!



ハイタッチ



～夏祭り～ 祭



8月7日(土)に「夏祭り2021」が行われました。たこ焼き、じゃがバター、かき氷!夏の屋台を思い起こさせるメニューを堪能した後、夏祭りのメインイベント「盆踊り」を職員とご利用者で、歌って踊って、皆さま楽しまれたご様子でした。熟練の職員たちによるダンス!昭和の代表曲「ダンシングヒーロー」は、凄い盛り上がりを見せました。

ひまわりの絆プロジェクト

千葉県鴨川警察署交通課長様より、大切なひまわりの種を頂戴しました。

2011(平成23)年に京都府内で発生した交通事故で亡くなられた男児が、生前に育てていたひまわりの種。

男児の生きていた証と遺族への支援とともに、命の大切さと交通事故の悲惨さを訴えることを目的に京都府警が発案し、賛同する都道府県警察を通じ、ひまわりを全国で開花させていく取り組みです。



大きく咲いたひまわり

皆で描きました!



子どもたちと丹精を込めて育て、輪を広げていきます。



らんまん勉強会開催!

家族や友達、地域の人や職場の人などと楽しく生活をしていくために、守らなければならないルールについての勉強会を感染予防に配慮して開催しました。

イラストやルビをふった事例のルールブックを見ながら、「してはいけないこと」を熱心に勉強していました。「知らなかった」「犯罪に巻き込まれないようにしたい」とご利用者から感想がありました。

これで安全に楽しく生活できること間違いなし!



障害福祉サービス事業所
らんまん
☎ 04-7098-1800



らんまん農耕作業 20年以上続く!

らんまん農耕作業は開設時から始まり、早いもので20年以上の歳月が過ぎました。

今年の夏もトウモロコシ、ナス、ミニトマトなど夏野菜が大豊作!!

ご利用者が汗水流して育てた野菜を収穫しました!



開設時より農耕作業一筋に取り組んできたレジェンドより

中西幸一様

良い野菜を作るには水かけは大切です。種植えが難しいです。これからもたくさんの四季折々の野菜ができるように頑張りたいです。

リトミック遊び

OURS babyでは、0歳児から歌やリズム体操、楽器遊びを通して、豊かな感性や表現力を育てています。秋号は、1歳児クラスが5月から展開しているリトミック遊びをご紹介します。

リトミックとは、音や曲調によって自由に体を動かし、表現することを楽しむもの。小さな子どもたちには、なりきり遊びからスタート!馴染みのある「カエル・チョウチョ・電車」など、パネルや保育教諭が実際に動いて伝え、徐々にピアノの音と合わせていきました。



企業主導型保育所
OURS baby
☎ 04-7096-5800

月～音とあそぼう～月



繰り返し遊ぶことで、音だけで動けるようになり、「聴く力」も育まれます。

これからも、リトミック遊びから得られる効果や子どもが持つ能力を伸ばしていけるよう、段階を踏みながら、繰り返し繰り返し、丁寧に楽しんでいきます。



創作活動!!

夏の風物詩の花火を貼り絵で、初夏のあじさいを折り紙で作りました。

日頃から趣味で貼り絵や折り紙などを行なっているご利用者が主となり、他のご利用者と協力しながらカラフルな打ち上げ花火が完成！折り紙では、あじさいの他にも、金魚や風鈴、鶴などのたくさんの作品を作っていただきました。

習字で意欲的に!!

午後からのレクリエーションで、習字を行いました。

居室で過ごされる事が多く、活動に積極的ではない方でしたが、習字に自ら参加されるなど、少しずつ意欲的になっています。

こうした活動を大切にしていき、少しでもご利用者の生活の質の向上に努めていきたいと思えます。



特別養護老人ホーム
めぐみの里
☎ 04-7098-1000



ちょこっと PR

らんまん一押し注目商品

祝箸 & オリジナル箸袋をご紹介します！ぜひご利用ください♡

祝箸：160円(税別) (右側：白い箸袋)
オリジナル箸袋：80円～100円程度(税別)
※注文内容によって、金額は要相談となります。
お問い合わせは、らんまんスタッフまで
☎04-7098-1800



技能実習生のご紹介 No.5



趣味：日本語学習
出身地：中国北京市
万娜さん

私の生活は、毎日とても充実しています。以前は、中国で日本語を勉強して、今は、日本で働いています。毎日、新しいことを学び、成長しています。利用者さんと一緒に過ごすと、とても楽しいです。これからも、利用者さんのために頑張ります。

（マンナさんの直筆です）

持続可能な地域社会のために

社会福祉法人太陽会が行っている、地域での事業や交流の一端をご紹介します。

2025年(令和7年)に全国で33.6万人(千葉県で2.8万人)の介護人材不足が予想されたことから、亀田グループでは介護福祉士養成プロジェクトを立ち上げ、2020年4月亀田医療技術専門学校に介護福祉学科を開設し、ベトナム国ドンア大学看護学部に、日本で働くために介護福祉士を目指す特設コースを設置しました。

留学生の受入れ

太陽会では、留学生のアルバイトや実習を受け入れて介護士の卵を育てています。

実習生の受入れ



アルバイトの受入れ ※平日は15時～19時、土曜日は8:30～17:30(昼休み1時間)



留学生のアルバイトは、1週間28時間以内と決められています。長期休暇中は、1日8時間以内・週40時間以内まで拡大されます。留学ビザのアルバイトは「資格外活動許可」を必要とします。

留学生の1日



学校まで歩いて通学します



学校からアルバイトへ



めぐみの里

送迎バスが利用できます



しあわせの里



たいよう

学校から歩いて5分



「今はアルバイトですが、とても助かっています。しっかり教えますので、私たちと同じように、ケアができる人材として、一緒に働いてもらえたらうれしいです。」施設より

ひとことインタビュー レー・ティ・ゴック・ヒュエンさん(2期生) しあわせの里でアルバイト

Q 授業以外にどうやって日本語を勉強していますか？

A アルバイトで新しい言葉を聞くと、メモして、家に帰ってから自分で調べます。ご利用者は、新しい言葉をたくさん教えてくれました。例えば、「そで」「すそ」「えり」などです。文法はインターネットなどで勉強を続けています。



シリーズ

人生の達人に聞く



- ・入居施設：たいよう
- ・お名前：長谷川 ヤスさん
- ・出身：東京都
- ・年齢：99歳(10月で100歳)
- ・好きな有名人：森 光子

趣味について

裁縫はよくやっていました。花や洋服を作ったりして。読書も好きで、小説や裁縫・洋裁に関する本を一晩中読んでいたこともあったわね。お茶もやっていた。先生と一緒に着物を着て。着物の手入れが結構たいへんだったのよ。

麻雀もよくやっていたの。32歳頃から麻雀を始めて、それからずっと麻雀をやってますよ。頭もよく使うしね。

元気の秘訣は、くよくよしないこと。くよくよしたらダメよ。あとはお話しをすること。場も和むしね。



職員との麻雀は、「ボン」「チー」等の掛け声もしっかりとして、手加減をしようと思っていた職員は、いつもと違う雰囲気、本気でやらねばと思ったそうです。終了後、「楽しかった。今度はいつやるの？今晚？」と話されていました。

特集

障害のある方の“働きたい”をサポートします

～その人らしく、明るく輝きのある人生のために～

らんまんでは、障害のある方が、雇用契約を結ばない働き方ができる生産活動の場（就労支援B型事業所）（定員48名）を運営しています。ご利用者の「工賃アップ」を目指して、施設外の作業・実習にも力を入れてきました。今年23周年を迎えたらんまんでは、仕事の多様さ、工賃、一人ひとりのやりがいなどに重点を置いて、選ばれる施設になるよう努めています。



花の植栽風景（安房鴨川駅西口花壇）ワンシーズン約3,000株の花苗を植栽。施設の外で働くことが、より多くの方の理解につながります。タクシー運転手の方の心遣い、ご家族の参加、市民の方の「頑張ってる」などの声かけに、ご利用者たちはうれしや人の役にたつ喜びを感じ、やりがいにつながっています。（2021年6月）

地域とのふれあい



灌水（水やり）



花苗の納品
「当施設で育てた花苗が、地域に咲くと、やりがいを感じます。」（取材協力：ワークス館山様）

■地域に根差した“協働”

日中活動としては、施設内で、主に亀田クリニック、安房地域医療センター、認定こども園OURSから受託するクリーニング作業（毎日）のほか各種作業、施設外は、公共の花壇や公園の整備、亀田医療大学の学生食堂「亀ママキッチン」運営などを受託。さまざまな作業の場を通して、一人ひとりが、社会人としてのマナーや対人関係スキルを身につけるよう努めています。らんまん開設以来、19名の方が、地元企業等に、実習を経て就職しています。



アフターコロナへ

屋外作業で体力増進とストレス軽減を図りました。

ご利用者の声

「いろいろな難しい仕事にも挑戦して、もっとたくさんもらえるように頑張りたい。」

●事業の平均利用稼働率は、90～95%で、顧客満足度調査では、約9割の利用者が、らんまんの作業について「楽しい」と、回答いただいています。

■きれいな花を地域の皆さまへ

例えば、市の玄関口である安房鴨川駅西口花壇は、鴨川市の委託で2009年から整備を担っています。6月と12月の年2回、同じ障害者支援施設2施設が丹精込めた花苗を購入し、マリーゴールド等を植栽しています。

作業は、花壇の枯花を抜き取ることから始まり、耕うん、土壌改良、施肥、灌水、除草などがあります。苗を植えた後は、空模様を見ながら、ほぼ毎日のように短時間でも足を運び、手入れを行い、豊かな花を咲かせる花壇の完成となります。

障害のある方が働くことで得られるものは、「工賃」と共に、「感謝される喜び」や「社会に必要とされる感覚」があります。らんまんでは、地域の方と連携して、工程の細分化による仕事づくりや、多様な作業メニューを提供し、一人ひとりが、その人らしく、やりがいを感じる仕組みづくりに努めています。

コロナ禍で苦慮した1年でしたが、各作業班が新たな取り組みに挑戦しました。開設以来、徐々にアップしてきた月額平均工賃は、皆さまのご協力をもって16,115円（2020年度）となり、10年以上連続で千葉県平均を上回りました。

工賃とは？ らんまんの生産活動での売り上げは、経費を除き、すべてご利用者の工賃（お給料）になります。工賃は、作業の参加時間や一人ひとりの頑張りによって決まります。

地域の関係機関・企業との結びつき

■クリーニング（医療機関等から受注）



クリーニング作業（施設内）
毎日、平均で約15,000着の病院検査着・スタッフ衣類や、約200枚のこども園のおしぼりなどをクリーニングしています。確認作業を経て毎日配達します。

データ入力も
最近ではデータ入力やスキャナなどの仕事をする方もいるため、らんまんでも適性を見ながら作業工程に取り入れ、クリーニング枚数等のデータ入力をする方もいます。



「気持ちよく使ってもらえるよう、丁寧にたたみます」
Sさん

■亀ママキッチン（亀田医療大学 学生食堂）



亀ママキッチン Instagram



■農耕作業（施設内菜園）



「私たちのミニトマト、大学生が喜んでくれるといいな」
Sさん



コロナ禍も変わらず、毎日、納品・集荷に伺います。



安房地域医療センターへ到着



「トウモロコシ、やっと収穫できました」
Nさん

アフターコロナへ

クリーニング・食堂など衛生面に対策を強化し、感染管理の質が上がりました。

■内職作業（施設内） 販売用ペンの組み立て

たくさんの工程があるので、個々のニーズに合わせた仕事を用意します。



ペンの向きを合わせる。



シールを貼る。

個性と創造性を作品作りに生かしています。

個性を生かした作業内容

■障害者アート・木工作業による商品づくり（作業棟）



「僕は、絵を描くことが大好きです。」
Nくん



カンナ掛け
柔らかみを出す
職人技です。

※鴨川市総合交流ターミナル「みんなみの里」にてご購入いただけます。

見学・ご利用のお問合せはお気軽に！

その人らしく、やりがいをもって働ける事業所です。皆さまの応援、ご協力、よろしくお祈りします。
☎04-7098-1800 らんまん（平日8:30～17:30）
✉ranman1245@ca.wakwak.com